

こうふ町 議会だより

いにしえに学び、今に活かす

せせらぎ公園内ピオトープ再生作業状況

決算認定	2P~10P
陳情・組合議会	11P
一般質問	12P~13P

議会のことをわかりやすくお伝えします

昨年度の主な事業

ふるさと納税推進事業

令和4年度実績は
寄付総額 5億8,694万円で
その寄付を集める為の経費として支出
しました。



移住促進住宅等整備事業

佐川地区の測量設計・旧パチンコ店舗等解体
造成工事・用地取得を実施しました。



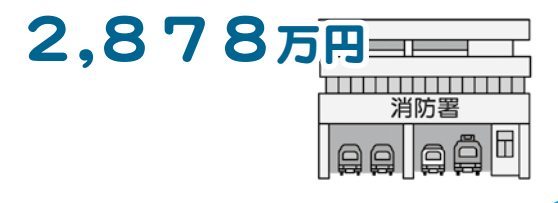
地方創生推進交付金事業

3か年の交付金事業の3年目。都市圏の人口
集中一極化を是正し、地方への新たな人流の
創出、地域活性化につながる事業を推進しま
した。



消防施設等整備事業

江府消防署移転に係る用地取得・旧縫製工場
建物解体工事を実施しました。



燃料価格高騰対策支援事業

新型コロナウイルス感染症等の影響による燃
料価格高騰に対する生活支援として各世帯に
給油等助成金（2万円）を配布しました。



マイナンバー普及促進事業

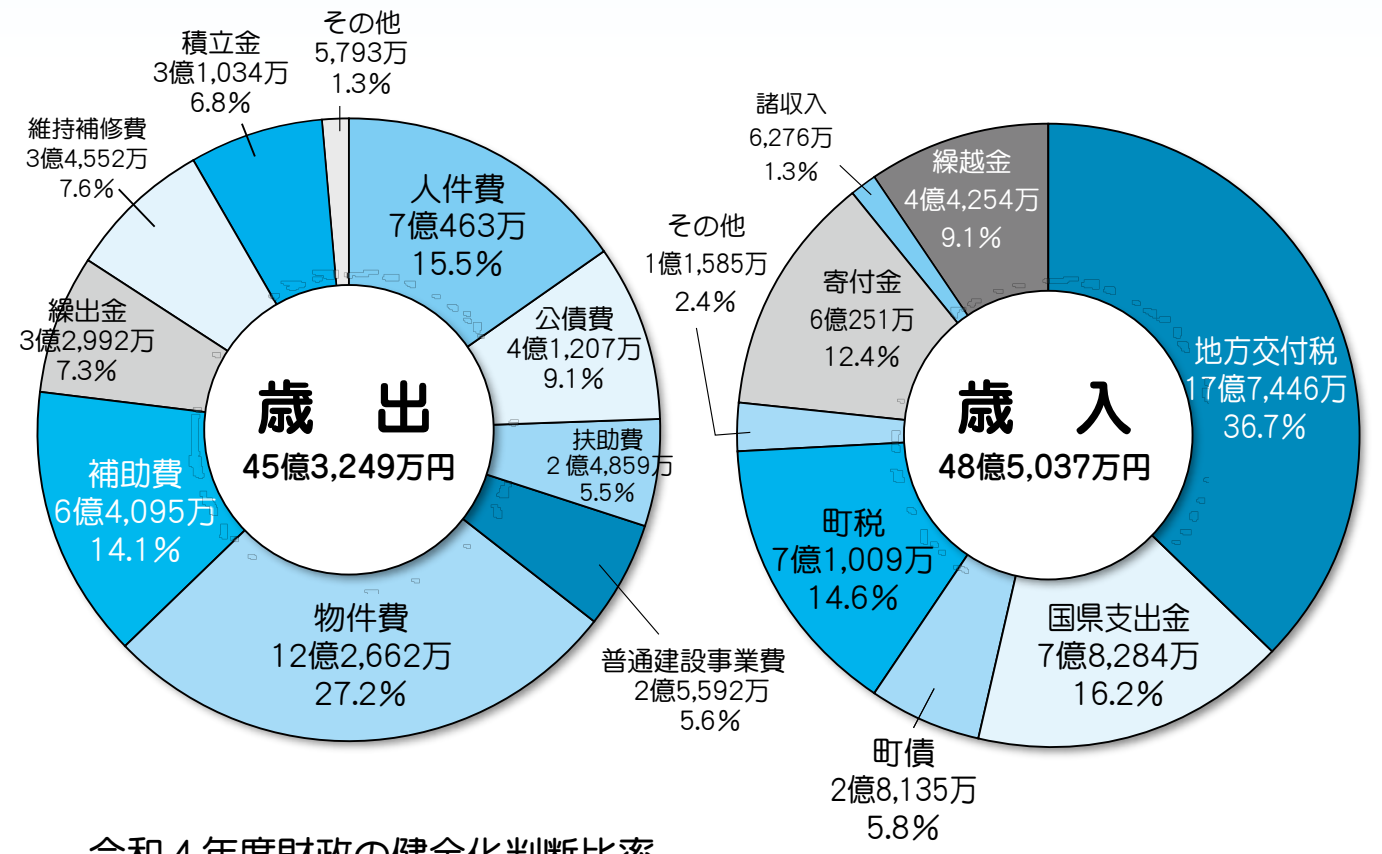
マイナンバーカードを期限内に申請した方を
対象に商品券（1万円）を交付しました。



令和4年度 歳入歳出決算を認定

令和5年度9月定例会は12日招集され、会期を27日までの16日間として開かれまし
た。今回の定例会は令和4年度一般会計と11件の特別会計、2件の公営企業会計の決
算および令和5年度補正予算等提出議案33件を審議し、すべて原案通り可決しました。
なお、本会議初日に令和4年度決算に係る財政の健全化判断比率及び、公営企業会計
の資金不足比率について各項目とも基準値を下回っているとの報告がなされました。

一般会計



令和4年度財政の健全化判断比率

比率名	令和4年度 (%)	早期健全化基準 (%)
実質赤字比率	—	15.0
連結実質赤字比率	—	20.0
実質公債費比率	13.9	25.0
将来負担比率	81.1	350.0

令和4年度公営企業会計資金不足比率

会計名	令和4年度 (%)	経営健全化基準 (%)
簡易水道事業	—	20.0
下水道等事業	—	20.0
索道事業	—	20.0

特別会計・公営企業会計の状況

特別会計	歳入	歳出	収支	繰入金
住宅新築資金等貸付事業	648万円	0	648万円	0
国民健康保険（事業勘定）	3億5,671万円	3億4,256万円	1,415万円	3,038万円
国民健康保険（施設勘定）	2億8,445万円	2億3,272万円	5,173万円	3,379万円
介護保険事業（保険事業勘定）	6億6,266万円	5億6,458万円	9,808万円	1億0,432万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	299万円	281万円	18万円	6,155万円
介護老人保健施設	1億0,265万円	1億0,265万円	0	0
後期高齢者医療	5,565万円	5,464万円	101万円	1,737万円
索道事業	3,095万円	3,095万円	0	2,231万円
江尾財産区	215万円	6万円	209万円	0
神奈川財産区	86万円	34万円	52万円	0
米沢財産区	855万円	805万円	50万円	0
合計	15億1,410万円	13億3,936万円	1億7,474万円	2億6,972万円

公営企業会計	収入	支出	差引額
簡易水道事業			
収益的収入及び支出	6,841万円	1億0,444万円	△3,603万円
資本的収入及び支出	1億4,887万円	1億6,630万円	△1,743万円
下水道等事業			
収益的収入及び支出	1億7,130万円	1億8,070万円	△940万円
資本的収入及び支出	1億2,434万円	1億6,316万円	△3,882万円

8月臨時会 審査結果

臨時議会が招集され、提案された議案について、いずれも原案通り可決されました。

8月7日 第5回臨時会

○令和5年度鳥取県日野郡江府町一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ3,680万円を追加し、歳入歳出の総額を51億3,804万円としました。

主な内容	財産取得（土地・建物）事業	650万円
	光ファイバーケーブル増設事業	478万円
	町制70周年記念事業	180万円
	移住促進住宅等整備事業	2,265万円

8月11日 第6回臨時会

○令和5年度鳥取県日野郡江府町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ3,500万円を追加し、歳入歳出の総額を51億7,304万円としました。

主な内容	江尾地区火災被災住宅支援補助金	3,000万円
	江尾地区火災被害支援金	500万円

令和4年度 江府町歳入歳出決算審査意見書



岡田雄成代表監査委員

審査の対象及び期間

令和4年度におけるすべての会計について、令和5年7月25日から令和5年8月17日までの間、2名の監査委員により決算書、主要施策の成果と事業実績、財産に関する調書等について予算の執行状況、事業の内容と適合性、財務の健全性、資産の管理状況等について関係帳簿、証拠書類を検証して監査を実施しましたので、審査の総括と留意事項を要約してお知らせします。

総括

(1)令和4年度一般会計の決算状況を見ると、歳入総額は4,850,367千円。歳出総額は4,532,485千円で、差し引き額は317,882千円です。歳出では、建設事業費、扶助費、補助費等が減少しましたが、物件費、維持補修費、投資・出資、貸付金が75,820千円、率にすると1.7%増加しています。これに対し歳入は、繰越金、寄付金、繰入金が増加しましたが、国庫支出金、町債、諸収入が、48,837千円の減となり率にすると1.0%減少となっています。その内、地方交付税は、1,774,462千円で前年対比では56千円少なくなっています。基準財政収入額の算定基礎であります町税は23,568千円減の710,087千円でした。固定資産税の今後の見込みについては、令和9年度において4年度より31,286千円減の547,593千円とみています。

(2)財政指標状況について見ると、経常収支比率にあつては、15.0ポイント増の95.9%です。実質公債費比率（3ヶ年平均）は、0.4%の増で、13.9%（早期健全化基準：25%以下）となっています。また将来の財政を圧迫する可能性の度合いを示す令和4年度将来負担比率は前年と同じく81.1%（早期健全化基準：350%）でした。

このように、財政状況指標的には、早期健全化基準以下ではありますが、経常収支比率だけが異常に高いので今後の経過に注意すべきです。

(3)令和5年7月末町人口は999世帯2,564人で、依然減少傾向は進行しています。そのような中、令和3年度に策定した、「江府町移住定住促進住宅等整備構想に」に基づき官民連携して、佐川地区の拠点施設整備を進めようとしています。「マイホームタウン笑顔生まれる佐川の暮らし」の方針で、パチンコ店跡地購入や建物解体・造成工事等で124,260千円の決算でした。

(4)ふるさと納税は、前年対比122%で、寄付額は586,941千円でした。このうち289,763千円が経費となり残りの297,178千円が町の基金（自主財源）となっています。

(5)サイクルツーリズム推進を図るため、電動アシスト付き自転車を5台整備しました。江府町商工会へ無償貸出とし、レンタルサイクル事業を実施していただくものです。2,190千円の支出となっています。

留意事項

(1)佐川地区の拠点施設整備は、町の人口減少に対して命運をかけた事業です。着々と姿を現してきており、江府町の新しい未来に期待すると共に成功を祈念するものです。

(2)ふるさと納税は過去最高を更新している。29,108件で、交流人口増にも貢献している。寄付者の気持ちをくみ取り町のために活用していただきたい。

(3)本年8月8日に発生した大規模火災に対して、焼損建物の解体撤去費や見舞金35,000千円を電光石火のごとく対応し住民も力強く感じたが、引き続き生活の安全・安心の確保を目指して努力されたい。

決算の審査

一般会計

総務課

Q 公用車や消防車それぞれの車両管理についてどうなっているか。

A 公用車については、車両管理員1名を配置し、維持管理に努めています。消防車については、来年度へ向けて考えていきます。

Q ふるさと納税の返礼品について「物」に加えて、新たに「事」を取り入れる考えはないか。

A サイクルツーリズム、プラネタリーヘルス、奥大山自然塾等、魅力ある「事」の品がたくさんあり、検討していきます。

Q 9月から変わった防災行政無線の楽曲演奏の音が不明瞭で聞き取りにくいという声があるが。

A 建設的なご意見をパブリックコメントとしていただきたいです。

教育課

Q 保育園新園舎建設のために用地購入や外部からのアドバイザーの協力も得て、「保育園らしくない保育園」のプロジェクトを進めているが進捗状況は。

A 毎月ワークショップを開催していますが、当初「保育園らしくない保育園」に対する理解、描く形が見えず意見が拡散し、時間を要しています。先進地視察もし、情報収集をしている状況で現在5合目くらいです。これらを積み上げていき、住民の皆さんも納得できる計画を、令和5年度いっぱいまでにと考えています。

Q 保育園開園までのスケジュールは、どうなっているか。

A 令和5年度内に計画を形にし、令和6年度設計・用地造成、令和7年度建設、令和8年度内に運営を目指すことを前提

産業建設課

Q 町特産品の梨（新甘泉）の今年の収量は。

A 梨の収量については、今年はおおむね当初計画の予定通りです。摘果や収穫後の枝の剪定もしっかり出来ています。単価についても予定通りのいい数字が出ると思っています。

Q 新規の計画状況は。

A 令和5年度から、宮市地区に約50アールの農地をお借りし、5品種の梨栽培に着手しています。造成、棚作り、定植、最終的に網掛け。一番早くは、令和9年に収穫の予定です。

Q 肥料価格高騰助成金の申請数は。

A 申請が想定の数より、少なく、14戸です。

Q 申請数が少ないが、利用しやすいように制度の見直しは行わないのか。

A 県に話しをあげさせてもらいます。

住民生活課

Q 過疎バス対策の日ノ丸バスの日野路線利用者数は。

としております。

Q 江府学園の和式トイレを洋式トイレに改修していくことについての進捗状況は。

A 町長へも要望があり、懸念されています。異臭の対策も含めまして、予算化へ向けていきます。

Q 江府学園校舎等LED照明器具更新工事の器具選定において「器具とランプが分かれたタイプ」の方が維持管理費が安価と思われるか。

A 費用面の事もありますが、経済産業省は重大事故にならないよう、照明器具については器具とランプの一体型のLEDに交換する方法を推奨しています。

Q 江府学園の楽器購入について充足したか、足りないものがあるか。

A 江府学園吹奏楽は、少ない人数編成でも中国大会で金賞を受賞させていただきました。その際、借りていましたチャイムを購入させていただきました。今後の楽器購入については、子どもたちと本当に必要な物かどうか、吟味していきます。



奥大山江府学園吹奏楽部 日輪祭にて

「こつひのたより」とも毎月1回、合同会議を行っています。

Q 新型コロナワクチン接種者について、1回から5回の接種者は何パーセントか。

A 世の中の流れもあり、接種率が下がっているのはPRをしっかりとやっていただきたい。

A 75・47パーセントの接種率です。

今年も秋から冬にかけて実施させていただきます。今後、防災無線でも周知をしていきます。



コロナワクチン接種状況



梨の受粉作業

特別会計

国民健康保険（事業勘定）

Q 国民健康保険の保険料は今後上がるのか？

A 保険料は県で一つとなり今後、10年掛けて統一の方向になるが、江府町はあまり変わらないと思います。

国民健康保険

（施設勘定）

Q 歯科において一日当たり診療件数が5件減少している要因は何か？

A 町営バスの運行時間との兼ね合いで診療数が減少したと思われる。今後、歯科検診に力を入れていきます。

Q 旧俣野小学校を利用して、地区医療を行っているがトイレはどのようなものか。医師や住民が使うものであり改修を進めるべきと思うか？

A 多目的トイレは改修しているが、その他のトイレは改修が必要です。今後、予算化に努力します。

介護保険事業

（保険事業勘定）

Q 訪問調査員が調査するまでのシステムはどうなっているか？

A 診療所の医師や、「えんちゃん」などのルートがあり、また、地域の方からも江府町総合健康福祉センターに報告・連絡する方法があります。

Q 介護老人保健施設あやめに於いて温水器を更新しているが、使用目的は何か？

A 各部屋に設置しており、手洗いなどに使用しています。40室全て更新しました。

索道事業

Q 奥大山スキー場は休止中だが、今後の見通しはどうか？

A 環境省からの猶予の問題はありますが、廃止をすれば、山に戻さなくてはならず、多額なお金が掛かります。したがって、現状のままです。新しい事業を始めなくてはならないと考えます。

Q 奥大山自然塾を開校しており、地球誕生から46億年の学習に多くの人々が来校しています。

しかしながら内容が貧弱な感じがするが？

A 確かに貧弱な感はあると思いますが、現在、表示看板設置中であり、今後、歩く距離や傾斜等の変更も必要と考えています。

公営企業会計

下水道等事業

Q 令和4年度に、合併浄化槽を設置した集落はどこか？

A 大河原、美女石です。令和5年度現在では町としての下水道事業は終了しています。事業区域外で浄化槽を設置された場合は、補助金を出していきます。

決算特別委員会

参考意見 一般会計

総務課

① 福利厚生において、全職員を対象にストレスチェックを実施しているが、回答率は75%に留まっている。今後において、全職員が回答するように、継続して回収方法などを考慮されたい。

② ふるさと納税推進事業について、新規の返礼品で「物」に加え、「事」も取り入れ、寄付者の選択肢を広げ、貴重な自主財源の確保に努められたい。

③ 町消防団について団員報酬を増額などとして、待遇改善を図っているが、引き続き待遇を含めた環境改善をさらに進め、町民の災害に対する自衛の意識の更なる向上と啓蒙を図り、団の定員数確保に努められたい。

農業委員会

① 優良農地を守り、荒廃農地を出さないため、担い手や新規参入者育成などの促進が急務である。今後、各集落や地域を単位として、

近未来への産業戦略と地域計画の策定に努力されたい。

② 農地基本台帳システムにより、農地に関するシステムの構築を進めている。今後において、各システムの突合せ修正を行い住民に対し、よりの確な情報提供を実現されたい。

産業建設課

① 令和4年度の梨（新甘泉）の栽培は、前年度に比べて収穫量は安定している。安定した収穫確保には、摘果や枝の剪定も重要であり、技術の習熟が喫緊の課題である。また、令和9年度を目途に、新たに5品種の梨栽培を開始するが、今後も着実な生育と収穫増を実現し、町特産品のひとつとなるよう努力されたい。

② 有害鳥獣駆除事業において、侵入防止柵の設置を実施している。イノシシの被害面積や捕獲数はいずれも減少傾向にあるが、シカの捕獲数は増加している。引き続き有害鳥獣対策を、確実に推進されたい。

③ 地籍調査を開始して約20

住民生活課

年が経過しようとしているが、その成果は令和4年度までで、16.9%にとどまっている。今後においては、組織体制を強化し完成を急がれたい。

① マイナンバーカードの普及促進において、普及率向上に向け様々なアイデアと共に実施している。令和4年度の普及率は78%。取得者は令和3年度が242名、令和4年度が984名と飛躍的に普及している。今後さらに、普及率の低い若年層に対しては特に普及啓発を強化し、100%取得を目指し、普及促進に努力されたい。

② 町営交通対策として、町営バス6路線及びタクシー車両4台を運行している。子どもたちの利用が少ない一方で、路線によっては、バス、タクシー共に利用者は増えている。これらの要因を探求し、今後、子どもたちも含め、町民がもっとも利用しやすいような、公共交通環境に向け、その構築と改善に努力されたい。

教育委員会

① 現在の子供の国保育園の立地環境や老朽化に伴い、新築移転し、良好な保育環境を確保するための用地購入を行っている。確かな調査と計画で、江府町ならではの理念とともに、すみやかに新園舎建設事業を進められたい。

② 奥大山江府学園（ブナの森・日野川校舎）のトイレをはじめとする衛生環境改善については、保護者会からの要望もある。近年の、児童生徒の生活スタイル等を充分に考慮し、早急に改修と改善に努められたい。



急傾斜地に隣接する子供の国保育園

住宅新築資金等
貸付事業

・滞納者は4名であり、昨年度の滞納金370万円に
対して365万円とわずかな
がら減少した。引き続き徴
収事務に務められたい。

国民健康保険
(事業勘定)

・国民健康保険料が今後統
一の方向になるようだが、
今後、どのように推移する
のか判明した時点で、町民
に周知を図られたい。

国民健康保険
(施設勘定)

・旧俣野小学校を利用した
診療所の多目的トイレに一
部改修しているが、その他
のトイレは使用禁止等、不
備な状態のままである。改
修を進めるよう重ねて努力
されたい。

介護保険事業
(保険事業勘定)

・介護認定を受けるまで
に、訪問調査員による介護
認定調査を行い、介護認定
審査会に認定情報を送って
いるが、訪問調査員が調査
するまでのシステムが解り
にくい、住民等からの情報
が訪問調査員に届くよう
PRに努められたい。

索道事業会計

・奥大山スキー場は現状の
ままでは、環境省から指摘
がある可能性も予想され
る。今後、新しい事業等考
えていくことが必要と思わ
れる。町としての方針を検
討されたい。

簡易水道事業会計

・現在漏水等のため有収水
率が68.1%となっており、
昨年度は65%であり、
3.1%向上した。しかし、
まだ不十分であり、今
後、漏水箇所修繕等を実施
し、有収水率80%を目指
すよう努力されたい。

下水道等事業会計

令和5年3月末現在、接
続率は92.26%であり、ま
だ接続されていない集落も
ある。合併浄化槽の設置も
含め接続率を上げるため一
層の努力をされたい。



新事業が求められる、奥大山スキー場

陳情の審査結果
令和5年第7回江府町議会9月定例会

受理番号及び 受理年月日	件名及び要旨	提出者	審議結果
陳情第10号 令和5年 8月4日	消費税インボイス制度の実施中 止を求める陳情	鳥取県米子市博労町3-90 鳥取県民主商工会連合会 会長 奥田 清治	不採択

日野病院組合議会報告書

令和4年度病院事業等の決算について報告がありました。

【総括的事項】

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT・MRIなどの診療機器や、無菌手術の可能な手術室を備え、一般病棟99床（うち地域包括ケア病床25床）の入院業務と21診療科の外來診療に加え訪問診療を行った。加えて、在宅介護支援事業及び診療所事業を行い「出かける医療・近づく医療」の推進を図った。

【累積余剰金】

平成18年度に約6億円あった累積欠損金が、平成19年度以降の黒字決算の継続により、平成24年度決算終了時点で累積剰余金に転じている。累積剰余金は、令和4年度決算終了時点で940,060千円となった。剰余金を処分する際は、条例の定めによるか議会の議決を要することとされているが、令和4年度決算において発生した累積剰余金については、未処分利益剰余金として扱う。

日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告書

令和5年8月24日、江府町役場において、第3回三町衛生施設組合議会定例会が開催されました。議案第5号では令和4年度の歳入歳出決算の認定があり可決されました。決算状況については以下の通りです。

歳入総額	194,444,978円	(江府町負担分：70,906千円)
歳出総額	176,398,545円	(前年対比3,755千円の増、電気料金の高騰などによる)
差引残額	18,046,433円	差引残額は全て令和5年度に繰り越ししました。

9月定例会 補正予算

今議会において一般会計（5号、6号、7号、8号）、特別会計、公営企業会計から11件の補正予算が上程され、いずれも原案通り可決されました。

○一般会計補正予算（第5号）補正総額	7,250万円
予算総額	52億4,554万円
歳入（主なもの）	前年度繰越金 10万円
	町債 7,240万円
歳出（主なもの）	集会所費 7,250万円
○一般会計補正予算（第6号）補正総額	4,300万円
予算総額	52億8,854万円
歳入（主なもの）	ふるさと応援基金繰入金 4,300万円
歳出（主なもの）	江尾地区火災住宅支援補助金 4,000万円
	消防器具購入補助金 300万円

○一般会計補正予算（第7号）補正総額	2億2,036万円
予算総額	55億0,889万円
歳入（主なもの）	普通地方交付税 3,009万円
	財政調整基金繰入金 △1億7,497万円
	前年度繰越金 1億9,656万円
	町債 1億0,335万円
歳出（主なもの）	公有財産購入費 502万円
	交流施設管理費 2,266万円
	地方創生推進交付金事業費 3,810万円
	商工振興費 1,448万円
	道路維持費 2,955万円
	ふるさと応援基金費 5,012万円
○一般会計補正予算（第8号）補正総額	予算の範囲内で組み替え
予算総額	55億0,889万円
歳出	財産管理費 219万円
	予備費 △219万円

持続可能な町づくりとは



川端 登志一

動画で一般質問

川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

災害に強く安心安全で人が集う、町づくりについて

質問 この度のような大規模火災を二度と起こさない備えと覚悟は？

町長答弁 不可抗力な要因もあつたが、いろいろな会を通じて反省をし、併せて住



途切れた道路

民の方にも防火の意識を持っていただくために自主防災組織の強化を図ります。早速、要望のある集落に出向き、防災などについて話し合いを進める考えです。

質問 要望のあるところだけというのは積極性に欠けるのではないかと？

町長答弁 自分たちのこととして話を聞きたいという所にしかかかるとは思いません。来なくてもいいという所に押しかけていくのはどうかと思います。

質問 防火意識の高揚のために他の方策は？

町長答弁 防火月間だけでなく、毎月定期的に防災無線や町報で意識啓発につながる情報を発信していきたい。

質問 火元の東側に空き地があり、延焼の防止につながったとの情報もある、この地区に限らず適地に防火帯を設置してはどうか？

町長答弁

土地や建物の持ち主の方にご考えていただくかということ、町が一方的に考えるのではなく地元も協力するので実施してほしいということを申し添えていただくのがよろしいかと考えます。

質問 大型緊急自動車進入路の設置についての考えはどうか？今回の場所に近いところに、当時消防用を目的とした道路建設が、長年に渡り途中で止まっている。経過や事情を認識しているか？

町長答弁 引き続き知らなかった。

質問 明らかに行政の流れがスムーズでなかったということである。早急に調査をして事業再開を進めていただきたい。

町長答弁 本日に雰囲気や風情のあるいいものだと思う。反面その裏で、職員がかなり苦労をしていることも承知しています。

質問 火文字の現場まで作業者の負担軽減や安全のため、作業道や資機材置き

町長答弁 事実関係を調べてみます。特別な事情があれば考えます。とにかく調査をします。

伝統行事江尾十七夜の持続可能な将来について

質問 4年連続中止となった江尾十七夜、幼児や児童にいかにつたえるか？

教育長答弁

学校の教育活動に限らず、江尾十七夜の事前学習をより充実させ、積極的に取り組むことにより町に誇りをもつて故郷の伝統を守り、受け継ぐ人材の育成に努めます。

質問 十七夜の火文字について町長の所感は？

町長答弁

本日に雰囲気や風情のあるいいものだと思う。反面その裏で、職員がかなり苦労をしていることも承知しています。

質問 火文字の現場まで作業者の負担軽減や安全のため、作業道や資機材置き

町長答弁 火文字は昭和45年から始めたものです。長い歴史の中では見直すこともあり得ると考えます。個人的には、ドローンで表現するなど今風のやり方があると思います。

質問 偉大な先達によって引き継がれた十七夜を持続可能とするため、こそ最大の努力が必要と考えるか？

町長答弁

十七夜の実行委員会があるものでそのほほうで判断するものがあると思います。個人的には、この行事は全然他の追隨を許さないものだと思います。万国旗は十七夜のイメージづくりに貢献していますが、それすらも大変な作業になっていきます。そのようなことも考えていかなければなりません。

江府町のリスク管理・危機管理の認識は？

地域防災計画・職員初動マニュアルは？



阿部 朝親

動画で一般質問

阿部議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

江府町のリスク管理・危機管理に対する認識は

質問 江府町には、災害を想定したリスク管理が必要と考える。今回の火災に関しても、消防車が一台バッテリー上がりで出動できなかったという、消火活動の基となる重要な問題が発生している。

リスク管理がなされておればこの様な問題は発生しなかったと考えるが、リスク管理への認識及び町民の安心・安全な生活が維持されるためのリスクを分析管理し、マニュアル的なものを策定する考えはないか伺う。ま

た、発生する災害等の被害を最小限にするための対応等、危機管理についての認識並びに、江府町防災計画では、

火災出動に万全を期するため、消防設備の点検責任者を定め随時点検をすることになって

いる。計画があつても実施されなければ何の意味もないと考える。法律に基づいた計画は計画として、町独自に考えられる危機について分析管理を行いマニュアルの作成する考えはないか伺う。

町長答弁

先日の火災に関してはいくつかの不備な点があり反省をしており、

申し訳ないと思つている。反省をし、今後に生かしたいと考えている。リスク管理と危機管理ですが、江府町地域防災計画に項目を定めてあり、改めて別なものを作成する考えはない。計画があつても実行できなければいけないことですが、計画を実行できるように注意喚起を含めやっていきたいと思う。

地域防災計画、職員初動マニュアルは？

質問

災害防止法第5条により作成された地域防災計画と、この防災計画に基づき作成された江府町防災マニュアルと職員初動マニュアルがある。防災計画の中には、消防団は常に消防器具を点検整備することになっている。また、職員初動マニュアルには、火災災害については計画がなされていない。今回の災害

での反省に基づいたマニュアルの見直しの考えはないか伺う。私は、職員の第一の職務は町民の生命・財産を守る事であると考えている。このマニュアルには江府町の職員としての心構え等非常に重要なことが明記してあるが、職員がどの様にマニュアルを認識しているかまた、このマニュアルの中には非常に古い資料が見受けられる。見直しを含め職員に対し周知徹底され意識改革をされる考えがあるか併せて伺う。

町長答弁

職員初動マニュアルについては、確認し適切に対応したい。江府町地域防災計画では、災害に対し職員の応急活動マニュアルを整備することになっているが、現在未整備であり、整備したい。今回の災害でいるんな課題もあつたが、決して職員がたるんでいるわけではなく、消防車の管理を職員にその責を負わせるのはどうかと思う。すべての消防自動車を職員が管理することも疑問があるが、不備なところは直し、前向きに対応していきたいと思う。



平井知事の火災現場視察

私のひとこと



江府町役場 小林 大二

町に新しい事業所を

こんにちは、江府町で動画制作のお仕事をしている小林 大二です。主には役場で毎月の出來事を伝えるニュース動画のオープニング制作や町内の様々な団体やイベントを撮影・編集し動画を作り、役場のYouTubeチャンネルを通して全国に発信しています。ネットは世界に通じているため、良い物を発信し続けていけば必ず誰かの目に留まるはず。そんな信念を持って活動を続けてきました。自治体の「公式YouTubeチャンネル」という、個人で

運営するチャンネルとはまた違う利点（取材の際の信頼感や全国の自治体が対象の「全国広報コンクール」への参加資格）もあり、動画制作の経験は薄かったですが、実践を通して様々な学びを得る事ができました。

2年半の活動の結果、「全国広報コンクール」において2年連続表彰や、県内の小中高等学校や県の生涯学習センターで情報発信について講座を行うなど、協力してくださった方や目に留めてくださった方々のお陰で様々な経験を得る事ができました。

協力隊の任期は今年度で終わるため、既に個人事業を開業し休みの日は準備や営業などで忙しくしています。江府町で開業する事業所の名前は「スタジオビーチ」にしました。「ビーチ」は一般的に「砂浜 (beach)」を想像されるのですが、江府

町には海がないため砂浜もありません。しかし、江府町の町木である「ブナ」も英語にすると「ビーチ (beach)」と呼びます。つまり、江府町は「ビーチ (beach) 砂浜」は無いけど、「ビーチ (beach) ブナ」があるんです。この町にある魅力を活かし、ブナの木のよりに地域に根差し育つ事業所となる事を目指しています。



日野郡議員研修会開催
日南町の林業アカデミーの取り組みについて研修しました。

町村議会議員として11年以上在職し功労者として表彰されました



表彰を受けた三輪英男議員

明徳学園生との懇談会開催



活発な意見交換が行われました。



9月定例会が終わり議会だよりを第203号としてお届けすることができました。一般質問では8月8日の大規模火災についての質疑がなされ多くの課題や改善点が浮き彫りになりました。少なからず今後の防災活動に益することと思えます。また、8月11日に開催された第6回の臨時会では、火災に対する補助金や支援金が可決され、決算審査における意見書総括では監査委員より一連の手續きの迅速さについて評価の言葉をいただきました。議会が少しでも町民の皆様の役に立てばこの上ありません。さらなるご指導を賜るよう議員一同願っています。

川端 登志一

広報公聴常任委員会

- 委員長 阿部 朝親
- 副委員長 川端登志一
- 委員 森田 哲也
- 委員 芦立 喜男
- 委員 加藤 周二